

グリニッチ福音キリスト教会

週報付録 141 号

MANNA マナ

2014年6月25日

## 【先週のメッセージより】 使徒 4:23~31

## 「私たちが本気に願うなら」

ペンテコステ後、使徒たちによって多くの奇跡が行われ、大胆にイエス の復活が証しし始められると民の指導者たちは困り果て、ペテロ、ヨハ ネを捕らえた。弟子たちはイエスの名によって語ってはならないと厳し く命じられた上で釈放された。彼らは仲間たちの所に戻ると一部始終を 報告した。すると、仲間たちは一斉に祈りの声をあげたのである。

- 困難に対する最初のレスポンスは「祈り」であった! 福音宣教は 人々の心を捕らえているサタンの力を押し返す「霊的」な事柄である。 私たちが霊的な領域に入って戦うためには必要なのは先ず「祈り」であ る。ペテロとヨハネの報告を聞いた弟子たちは祈りを実践した。ダニエ ルが21日間、喪に服して祈った結果、天使たちが遣わされ、霊の領域 で戦いがなされたことを心に刻み、私たちの祈りもまた同様に用いられ ることを信じて祈ろう。祈りを通して、霊的な戦いに参戦することを意 識していないと私たちは必ず血肉=人と戦ってしまうわなに陥ること を忘れてはならない。
- 祈りの内容(1) みことばを大胆に語らせてください! 弟子たち が祈ったのは、専門の伝道者はもちろんのこと、自分たち自身も一人一 人、人を恐れることなく、みことばを大胆に語れるように、ということ であった。それぞれのみことばの学びが深まり、確信をもって語れるよ う、また、実際に語る場に出ていけるよう、努力し、祈ろう。
- 祈りの内容(2) いやしを行わせ、しるしと不思議なわざを行わせ **てください!** 「福音には本当に力があることを示してください!」ま た「私たちをその道具としてください!」というのがこの祈りのエッセ ンス。いやし、しるし、不思議は主が行われることであるが、実際に主 の手足となって、ことを行うのは私たちである。
- 祈りの結果、その場所は震い動き、一同は聖霊に満たされ、神のこ とばを大胆に語りだした!私たちのこの祈りを実行しよう!■

## 【今週の暗唱聖句】

すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。 わたしがあなたがたを休ませてあげます。マタイ 11:28

● 有名なイエス様の御言葉です。なぜ私たちは疲れるのでしょう?無 理なことを人に期待し、自分に期待し、負い切れない責任を背負い込ん でしまうからではないでしょうか。主イエスは私たちに「自分や人を計 る物差し」「日々の生活の必要等、神の責任範囲に属するもの」を神に 返上するように呼び掛けておられるのです。そして、主イエスはわたし と一緒にくびきを負って歩もう、と言ってくださるのです。

## 【中国のある伝道者の詩】

いのちの水計画 2001年5~6月号より

に

をさば

1)

7

15

た

つ

T 人

自

5

耐え忍 で とを学 照 な たみ る で 7 ことを喜 0 0 LJ \* 明 か 1) を

8

忙

さを喜

で を

今つ今つ今つ今つ今 ては 7 は 知恵  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 御 4 に心 ょ 力 つ 頼 T みこ 遂 げ 7 ば n る 祈 求 を Y 8 っと て願た てを いう い喜 た



たぶ